

学年通信 「打たれよ熱き鉄人たち」 第4号

平成30年(2018年)7月12日(木)発行

1 「わかばノート」と「e-ポートフォリオ」の活用について

学園祭が終わり、夏休みを前に、二つの武器の使い方について話しておこう。

まず一つ目の武器、「わかばノート」。すでに、一学期も家庭学習に有効活用してきた人もいると思うが、長い夏休みだからこそ効果を発揮する。下に夏休みの課題を一覧にしたので、この敵と戦うにはとても頼りになる。

なすべきことはシンプル。まず40日間を見据えて、わかばノートにしっかりと学習計画を立てる。①自分の力量に合った無理のない計画であることと、②計画通り行えば課題を完遂できること。これが確認されれば後は忠実に計画通り一日一日を積み上げるのみ。

まずは、計画。わかばノートの活用だ。

第1学年 夏休み2018学習課題一覧		
教科・科目	内 容	提出日
現代文	・問題集『図でつかむリード現代文1』(啓隆社) ・読書感想文(原稿用紙5枚)	問題集：課題考査終了後 読書感想文：原則8月21日(火)
古典	『ニューグレード(本文編・設問編)』 問題番号5, 6, 7, 8, 20, 21, 22, 23	本文編・設問編：課題考査終了後
数学	『FocusZ』指定の例題	FocusZ用ノート：課題考査終了後
現代社会	「税に関する作文」(1200字以内)	9月3日(月) 始業式の日
生物基礎	『演習ノート生物基礎①』	2学期最初の生物基礎の授業
化学基礎	・練習問題プリント ・科学に関するレポート (B5:1枚)	2学期最初の化学基礎の授業
英語	・『NEWSBREAKS』を読む ・『チャート式 基礎からの新々総合英語』P16~91 ・『暗唱例文集』1~81 ・『英文法復習プリント』(B5:1枚、B4:3枚)	課題考査終了後
総合学習	・新書を1冊読んで、レポート(指定の用紙) ・オープンキャンパス体験レポート(指定の用紙)	9月3日(月)のLHR
*なお、詳細については、各教科担当からのプリントや指示に従うこと。		

そしてもう一つの武器。e-ポートフォリオの活用。ここに入力してほしいことは、棠楓祭での自分の役職。小さなことでいい。文化の部での係、体育の部での係はもちろん、その他にも中学生向け学校紹介ビデオへの出演、クラブでの近畿大会出場、様々なコンクールでの受賞など。自分の日常の足跡と小さな実績の積み上げが諸君らの進路を拓く。これは目の前の敵ではなく未来の強敵に向けてライフポイントを有効に蓄える武器なのだ。

2 棠楓祭そして通信簿 ～結果より過程を讃えられたサムライブルー～

八日市高校の持ち味の一つである棠楓祭は、7月5、6日に文化の部、9、10日に体育の部。豪雨・猛暑という過酷な条件にも屈することなく大いに盛り上がり、数々のドラマや感動、笑い、そしてニューヒーローを生んで無事終わった。まずはお疲れ様。完全燃焼は3年の先輩たち。諸君らはまだ今後2回もクライマックスを迎えることになる。単なるお祭り騒ぎ、お客さまで終わらず、今回の取組を通して、自主、協働、リーダーシップ、独創性、社交性、課題解決力など教科書では学べない力を伸ばしてくれたものと信じている。今回学習し、よりパワーアップしたその力を来年度以降にぜひ生かしてほしい。

さて、並行して開催されているFIFAワールドカップについて。日本チームの戦いへの評価は、勝ち負けの結果に対するものだけではなかったことを諸君らは知っている。

3連敗して予選リーグ敗退、という大方の冷静なる予想を覆し、緒戦コロンビアから南米初勝利の金星を奪うと、体格で大きなハンディを背負う強敵セネガルにも当たり負けせず、二度も追いついて引き分けに持ち込み、予選突破をかけた古豪ポーランド戦には、敗色濃い中、観客の痛烈なブーイングを浴びながらも、負けを受け入れて忠実に我慢のパス回しをやり切り、フェアプレーポイントの僅差で決勝トーナメント進出を決めた。結果論だが、勇気ある究極の選択だった。そして、決勝トーナメントでは世界ランク3位の優勝候補ベルギーを崖っぷちまで追い詰める、予想外の堂々たる戦いぶり。

しかし、振り返れば4戦戦って1勝2敗1分。たった一つしか勝っていないのだ。なのに、なぜこれほど僕たちは熱狂できたか。スポーツの価値が決して勝ち負けだけでなくもって人間くさいところにあることを、この事実は物語っている。目標や勝利に向けて選手がどれだけひたむきに努力したか、どれだけ真摯に向かい合ったか。結果でなく過程が大事だと、幼い頃からスポーツ指導者に教わってきた真理は、ワールドカップのような世界トップレベルのステージでも変わらず真理たり得ているということだ。

それゆえに、鉄人たちよ、一学期の成績をもらって一喜一憂するかと思うが、小さな結果にいちいち絶望してはならない。スポーツも、学園祭も、学習も、恋愛もまた同じ。「勝って奢るな。負けて滅入るな」いわんや人生は、じゃんけんの連続だ。勝ちが負けの伏線になったり、負けたことがきっかけで大勝ちしたりすることもある。ミスったら反省してもう一度歩き始めたらいい。反省せず歩き出すのは進化がないが、反省しすぎて臆病風に吹かれ動こうとしないのはさらに悪い。鉄人たちよ、人々の記憶からやがて消えゆくような小さな実績にしがみつき、それにより自尊を維持するより、たとえ失敗を繰り返しても、人々の魂を揺さぶるような、ひたむきに努力する尊い姿を見せよ。諸君らが高校時代に残す様々な評価の数値。それは最終結果ではない。現時点の成長の目安だ。栄光への過程の記録だ。諸君らの先には、戦うべきもっと大きな敵が待ち受けている。

さて、ピッチの上もさることながら、戦いを終えたサムライブルーはさらにかっこよかった。ベルギーとの悔しい敗戦の後でも、チームは、自らが使ったロッカールームを綺麗に清掃し、「スパシーバ(ロシア語でありがとう)」の手書きの手紙と青い折り鶴を置いて現地スタッフに労いと感謝の意を伝えたのだ。その事実は、現地の清掃担当スタッフのSNSへの投稿で一気に世界に拡散した。

「立つ鳥後を濁さず」という諺が日本にはあり、他のスポーツやサポーターも含め多くのチームが実践している、日本では当たり前前の礼儀かも知れないが、そのさわやかで礼儀正しい日本人アスリートの去りゆく姿は、世界中に共感と感動をもたらした。誇らしい話だ。八日市高校生もそんなリスペクトされるアスリートたちの集まりであってほしい。そして、棠楓祭が終われば、次なるステージに向けてクラスの空気を一新する、切り替えの早い聡明なアスリートでもあってほしい。燃え盛る、熱き夏。糧多き夏を。

シリーズ「担任のこころ」1 ふくだゆうき 福田雄気 (1-4担任)

いよいよ夏休みですね。課題や部活などやらなければいけないことがたくさんの方が多いと思います。そこで今回は時間に関する話を少し。

皆さんビル・ゲイツをご存じでしょうか。マイクロソフトの社長さんですね。最近アマゾンのCEOに抜かれたので世界で2番目のお金持ちの人です。このビル・ゲイツの稼ぎを時給換算するといくらになると思いますか。調べてみると、約46億円になるそうです。恐ろしい額ですよ。ただそんなビル・ゲイツにも買えないものがあります。それは・・・「時間」です。ビル・ゲイツが46億円払っても1日を25時間にすることはできません。1日24時間というのは全員共通の時間です。それでも成果や成績に差が出るのは、どれだけ時間を大事にできたかどうかだと思います。そのために勉強や部活の計画をしっかりと立てて、それ通りに実行することを頑張ってみてください。2学期は皆さんの成果に期待しています。それではいい夏を、そして“いい時間”を。

